

第二回流域圏シンポジウム アンケート集計結果

シンポジウム

「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」

～陸域から内湾（湖沼）までを俯瞰的に理解する

第二回：有機物・栄養塩動態を通して

主催：土木学会水工学委員会環境水理部会／水環境学会ノンポイント汚染研究委員会
／土木学会海岸工学委員会／沿岸環境関連学会連絡協議会

日時： 2011 年 12 月 15 日 13：30～18：00

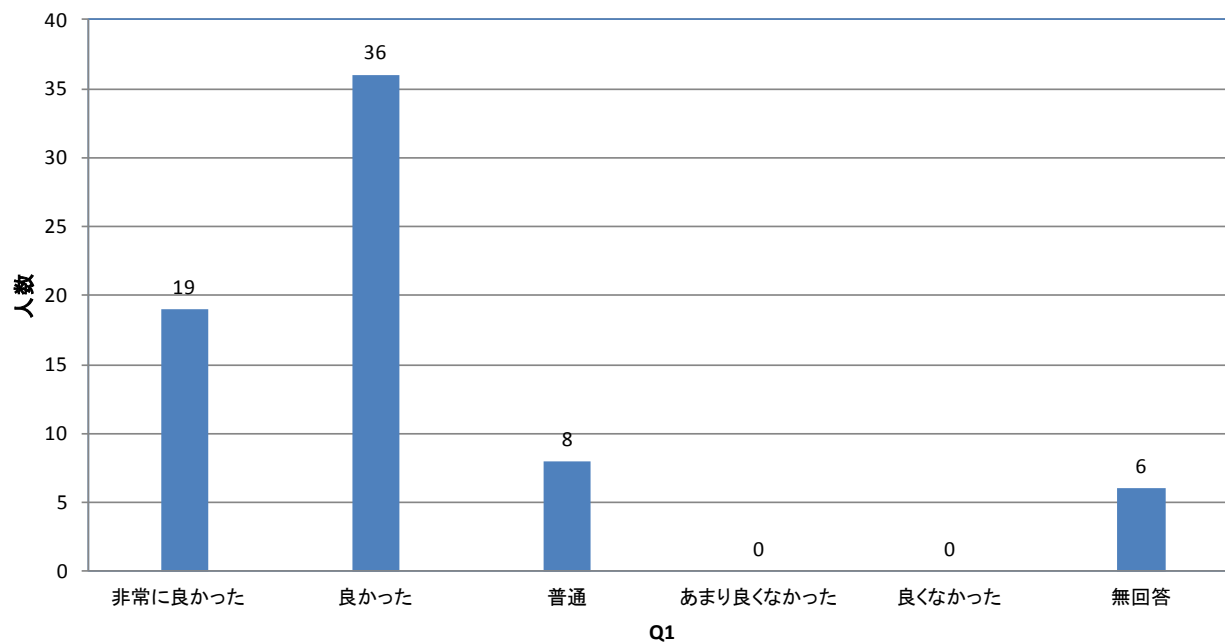
場所：京都大学東京オフィス会議室

参加者数：102 名

有効回答数：69

Q 今回のシンポジウムは、いかがでしたか？

- | | |
|------------------------------------|------|
| ☐ 非常に良かった | ： 19 |
| ☐ 良かった | ： 36 |
| ☐ 普通 | ： 8 |
| ☐ あまり良くなかった | ： 0 |
| ☐ 良くなかった | ： 0 |
| ☐ 無回答 | ： 6 |



良かった点：

- ・各論と総論の両方が議論された点。
- ・タイトルの通り取り扱う流域の領域が幅広い。

- それぞれの発表の内容が濃い。
- 分かっている点、まだ分からない点を色々な面から紹介いただいた。意外な実態を知った。
- 内容が多様だった点。
- 河川系の有識者の研究内容が聞けたこと。
- セッションの設置がよかった。
- シンポジウムの趣旨が明確で講演内容にも一貫性がある。
- スライドが見やすかった。
- なかなか聞けない分野の事まで聞けた。
- 様々な話が聞けた。
- 流域の物質輸送に関する現時点での知見や検討課題がよく分かったこと。
- 基本的な事を含め、幅広い分野の話を聞くことができた。
- 自分の所属分野以外の方々からの発表がたくさん聞けて良かった。
- 生態系システムの理解のために有益であった。
- 生物多様性をテーマとしているので、関連性のある話に興味をもった。
- 様々な視点から話題を提供されていたのは良かったです。
- 今後のテーマにいかせそう。
- 進歩した研究成果の発表があった点。
- 基礎から学術的な新しい視点まで整理された発表で勉強になりました。
- 専門性の高い内容をかみ砕いて話しされていた点。
- 全体をとらえることができた。
- 幅広い分野の話が聞けたこと。
- 多角的な視点の発表であり全体を把握できたこと。

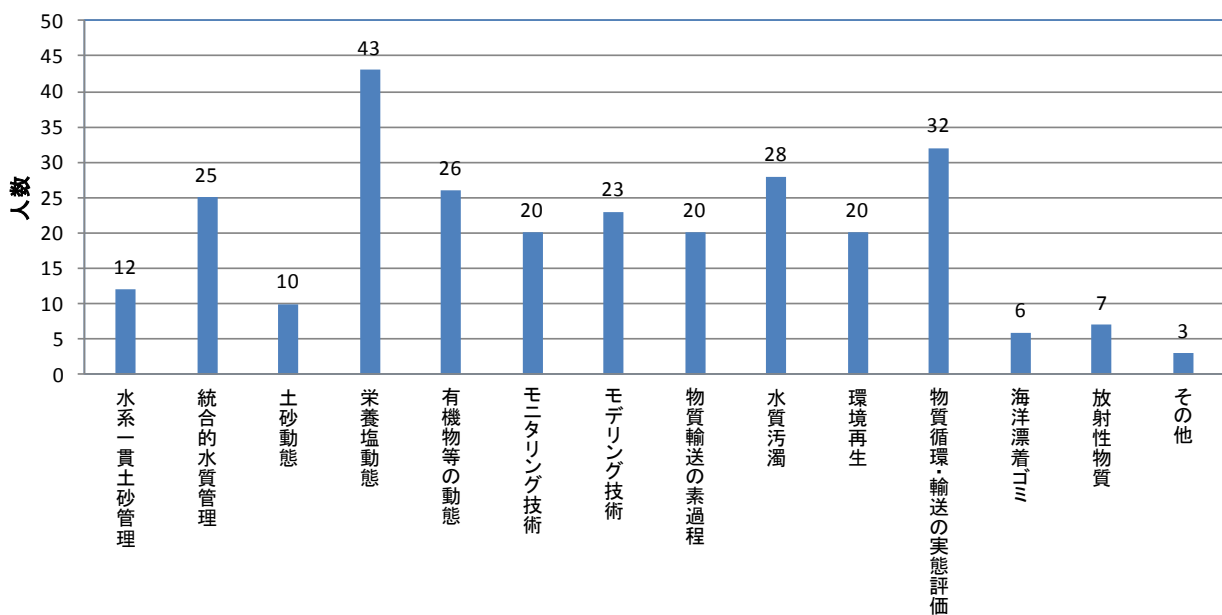
良くなかった点：

- 時間が窮屈なのが残念でした
- 輸送される側の内湾(湖沼)の状況を理解している発表者が少ないようだった。
- データがちょっと古い。
- 最初の講演のタイトルが、アンケート用紙のものは間違っていないですか？
- 有機物の話がもう少し多くてもよかった。
- 一つ一つの講演が時間が少し短い。
- 今回のテーマに未だ研究中と考えますが、ピコサイズの微生物からの検討が見られていない。
新しい視点として数量的影響は無視できないと考えます。
- 相も変わらぬ講演があった点
- ご自分の専門性を強調しすぎる点
- セクターごとの” つながり” に関する話がなかった。

Q 流域圏の物質輸送について、どのような情報・話題に興味がありますか？（複数選択可）

☐ 水系一貫土砂管理	: 12
☐ 統合的水質管理	: 25
☐ 土砂動態	: 10
☐ 栄養塩動態	: 43
☐ 有機物等の動態	: 26
☐ モニタリング技術	: 20
☐ モデリング技術	: 23
☐ 物質輸送の素過程	: 20
☐ 水質汚濁	: 28
☐ 環境再生	: 20
☐ 物質循環・輸送の実態評価	: 32
☐ 海洋漂着ゴミ	: 6
☐ 放射性物質	: 7
☐ その他	: 3

- ・資源循環利用，気候変化適応
- ・森林生態系の寄与・貢献



Q4

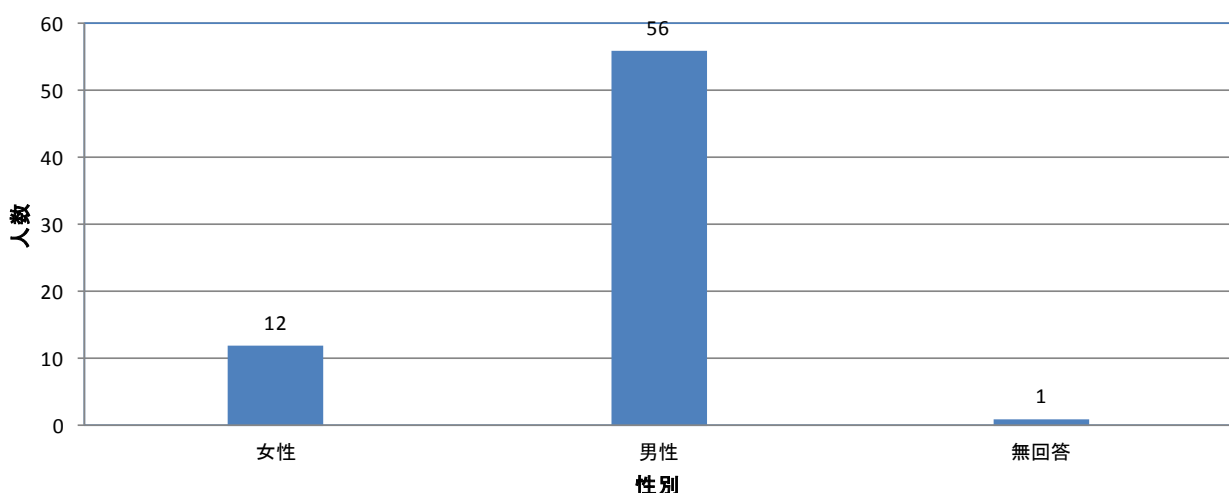
Q 今回のシンポジウムに対するご意見・ご感想を自由にご記入下さい。

- ・発表者の論文と参考文献のデータを載せて欲しいです
- ・研究の最前線に迫る事例を紹介していただき，大いに参考になりました
- ・現象スケールと環境変化のとらえ方を学びたい
- ・モデルさえ組めれば良いのかなと思った．現場で観測をもっとやっている人の話を入れたり，そういう人たちと一緒に研究すべきだと思った．
- ・陸域から内湾(湖沼)への物質輸送の結果としての内湾(湖沼)への影響について，もう少しお話が聞けると良かったです．良い研究者が良い発表者であるとは限らないことが分かりました．

- 内容が濃かったと思います。時間が足りない感じでした。1日やった方が良かったです。
- 流域圏について今後の研究課題や問題点はもっと示せばと思います。
- 次回も楽しみです。一つ一つの講演内容の割に時間が短過ぎたのではないのでしょうか？
1年に複数回の開催で考えになってはいかがでしょうか。
- 参考になりました
- 大変勉強になりました
- 俯瞰的という目的、題に沿った、幅広い話が聞けて良かった。
- 生物系とのジョイントを期待します。河川連続体仮説は、景観生態系とからめた方がおもしろそうです。
- とても勉強になりました
- それぞれのお話を興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。
- 今回のテーマに未だ研究中と考えますが、ピコサイズの微生物からの検討が見られていない。
新しい視点として数量的影響は無視できないと考えます。
- 講演のレベル設定が統一されていなかったのは残念です。
- 海洋のリンの動態は興味深い内容だった。3回目に期待します。
- 化学物質の管理はリスクベースに変わってきた。特にReach（欧州）や化審法など。これらを
考慮した内容を盛り込んで欲しい。
- 栄養塩の基礎的な知識が学べたことは大変有意義でありました。ありがとうございました。
- 多様なジャンルの発表を聞け、良かったです。発表者同士の意見交換の場（パネルディスカッション）
も聞いてみたいと思いました。

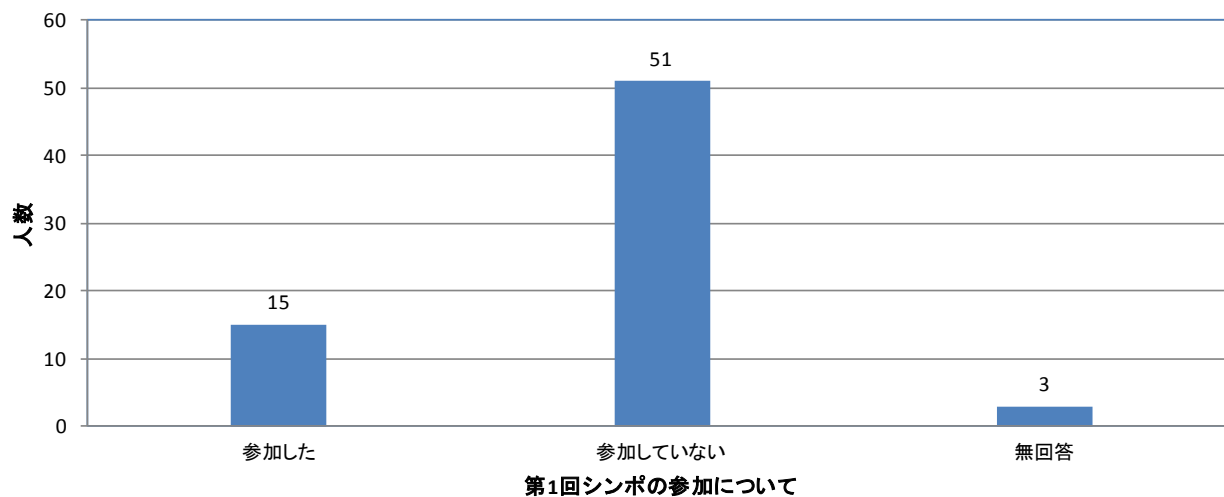
Q あなたの性別は？

□女性 ： 12
□男性 ： 56
□無回答 ： 1



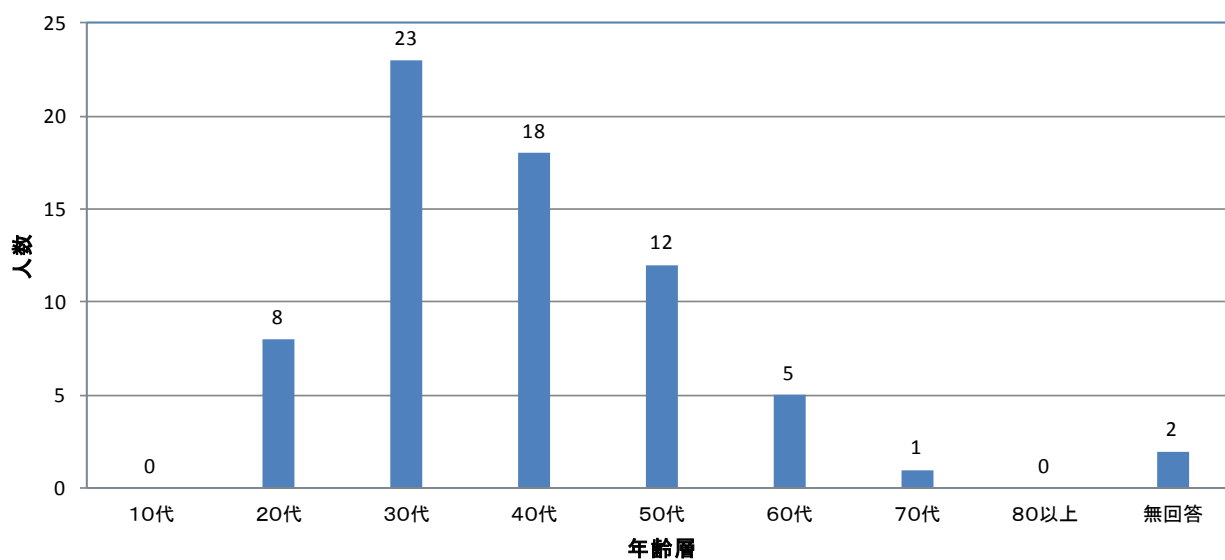
Q 昨年の第 1 回シンポ（H22 年 12 月 15 日開催）に参加しましたか？

☐ はい : 15
☐ いいえ : 51
☐ 無回答 : 3



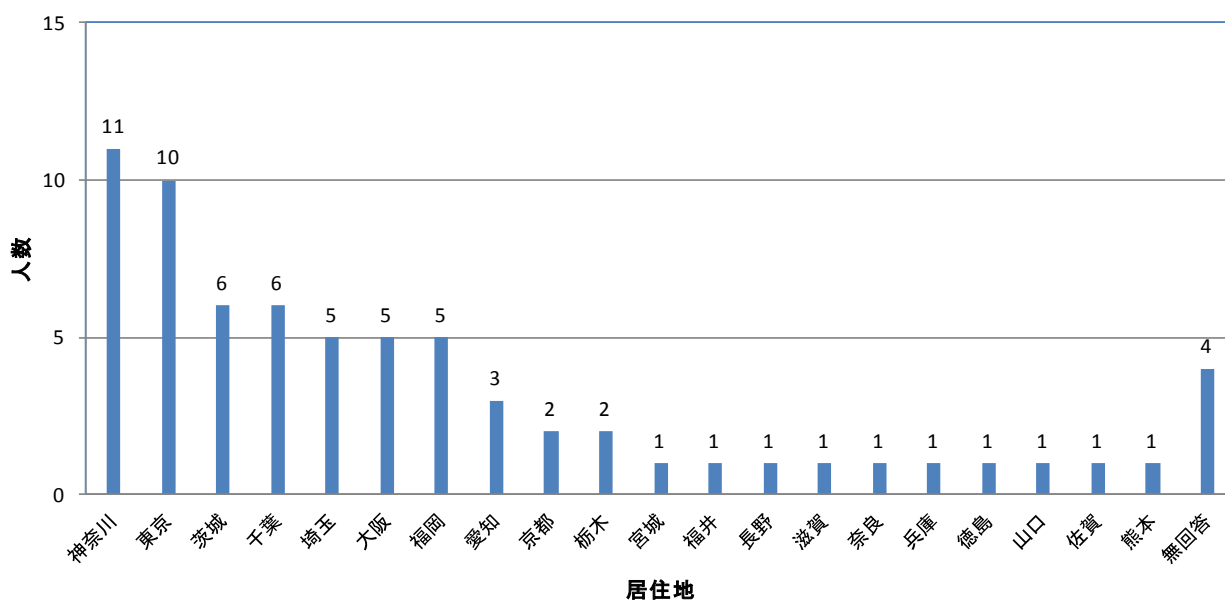
Q あなたの年齢は？

☐ 10 代 : 0
☐ 20 代 : 8
☐ 30 代 : 23
☐ 40 代 : 18
☐ 50 代 : 12
☐ 60 代 : 5
☐ 70 代 : 1
☐ 80 以上 : 0
☐ 無回答 : 2



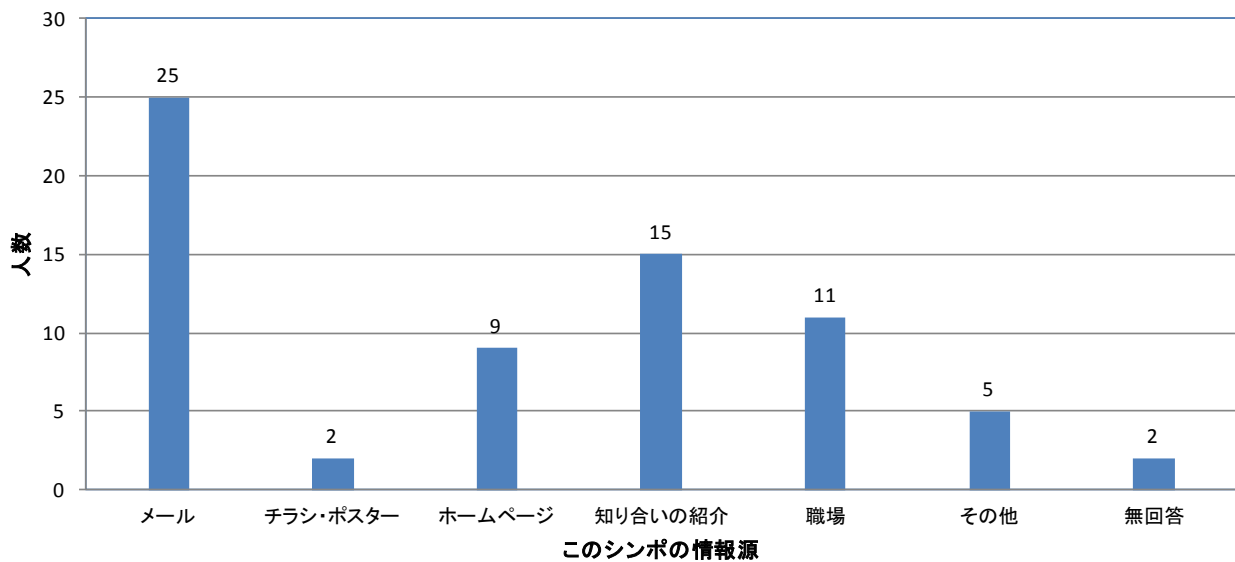
Q 現在のお住まいはどちらですか？（都道府県名）

- 神奈川 : 11
- 東京 : 10
- 茨城, 千葉 : 6
- 埼玉, 大阪, 福岡 : 5
- 愛知 : 3
- 京都, 栃木 : 2
- 熊本, 佐賀, 滋賀, 徳島, 長野, 奈良, 兵庫, 福井, 宮城, 山口 : 1
- 無回答 : 4



Q このシンポジウム開催をなにで知りましたか？

- メール : 25
- チラシ・ポスター : 2
- ホームページ : 9
- 知り合いの紹介 : 15
- 職場 : 11
- その他 : 5
 - 学会誌
 - 応用生態工学会 HP
 - 水環境学会 HP
- 無回答 : 2



Q あなたの業種（職種）は何ですか？

☐ 行政（部門） : 6

- 研究政策 : 2
- 環境
- 農業
- 環境研究
- 環境部局

☐ 研究・教育 : 32

☐ コンサルタント : 16

☐ 建設会社 : 1

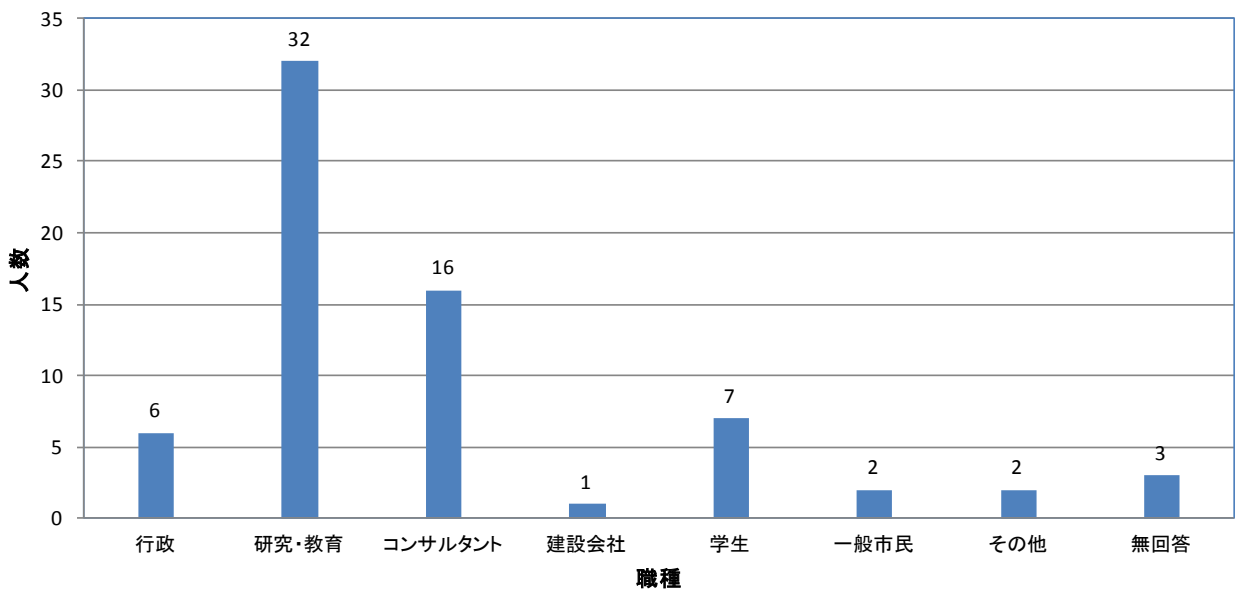
☐ 学生 : 7

☐ 一般市民 : 2

☐ その他 : 2

- 計測器メーカー
- 水処理

☐ 無回答 : 3



第 2 回シンポジウム アンケート

本日は年末のお忙しい中、当シンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。

次回以降のシンポジウムに皆様のご意見を反映させていただきたく、以下のアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

Q1 今回のシンポジウムは、いかがでしたか？ ☐非常に良かった ☐良かった ☐普通 ☐あまり良くなかった ☐良くなかった 良かった点（ ） 良くなかった点（ ）
Q2 今回のシンポジウムの中で、どの講演に興味（期待）を持って参加されましたか？（複数選択可） ☐PART1「酸イオンの同位体組成を用いた雨天時排水中の窒素起源の評価」 ☐PART1「農地系面源由来の窒素流出負荷対策についての今後の課」 ☐PART1「河川連続体仮説の水工学的記述と河川生態系での有機物・栄養塩動態」 ☐PART1「北海道における地下水・湧水水質の長期観測事例」 ☐PART2「水・堆積物界面における栄養塩循環」 ☐PART2「沿岸海洋生態系におけるリンの循環過程について」 ☐PART2「物質循環が生態系機能に及ぼす影響及び複雑性の評価」 ☐PART3 総合討論
Q3 今回のシンポジウムの中で、あなたにとって有益だった講演はありましたか？（複数選択可） ☐PART1「酸イオンの同位体組成を用いた雨天時排水中の窒素起源の評価」 ☐PART1「農地系面源由来の窒素流出負荷対策についての今後の課」 ☐PART1「河川連続体仮説の水工学的記述と河川生態系での有機物・栄養塩動態」 ☐PART1「北海道における地下水・湧水水質の長期観測事例」 ☐PART2「水・堆積物界面における栄養塩循環」 ☐PART2「沿岸海洋生態系におけるリンの循環過程について」 ☐PART2「物質循環が生態系機能に及ぼす影響及び複雑性の評価」 ☐PART3 総合討論
Q4 流域圏の物質輸送について、どのような情報・話題に興味がありますか？（複数選択可） ☐水系一貫土砂管理 ☐統合的水質管理 ☐土砂動態 ☐栄養塩動態 ☐有機物等の動態 ☐モニタリング技術 ☐モデリング技術 ☐物質輸送の素過程 ☐水質汚濁 ☐環境再生 ☐物質循環・輸送の実態評価 ☐海洋漂着ゴミ ☐放射性物質 ☐その他（ ）
Q5 今回のシンポジウムに対するご意見・ご感想を自由にご記入下さい。

あなたの性別は？ ☐女性 ☐男性
昨年（H22年12月15日開催）の第1回シンポに参加しましたか？ ☐はい ☐いいえ
あなたの年齢は？ ☐10代 ☐20代 ☐30代 ☐40代 ☐50代 ☐60代 ☐70代 ☐80以上
現在のお住まいはどちらですか？ 都道府県名（ ）
このシンポジウム開催をなにで知りましたか？ ☐メール ☐チラシ・ポスター ☐ホームページ ☐知り合いの紹介 ☐職場 ☐その他
あなたの業種（職種）は何ですか？ ☐行政（部門： ） ☐研究・教育 ☐コンサルタント ☐建設会社 ☐学生 ☐一般市民 ☐その他（ ）

ご協力ありがとうございました。このアンケート用紙は出口（受付付近）にて回収いたします。